

第5章 伊勢市水道事業の目指すべき方向

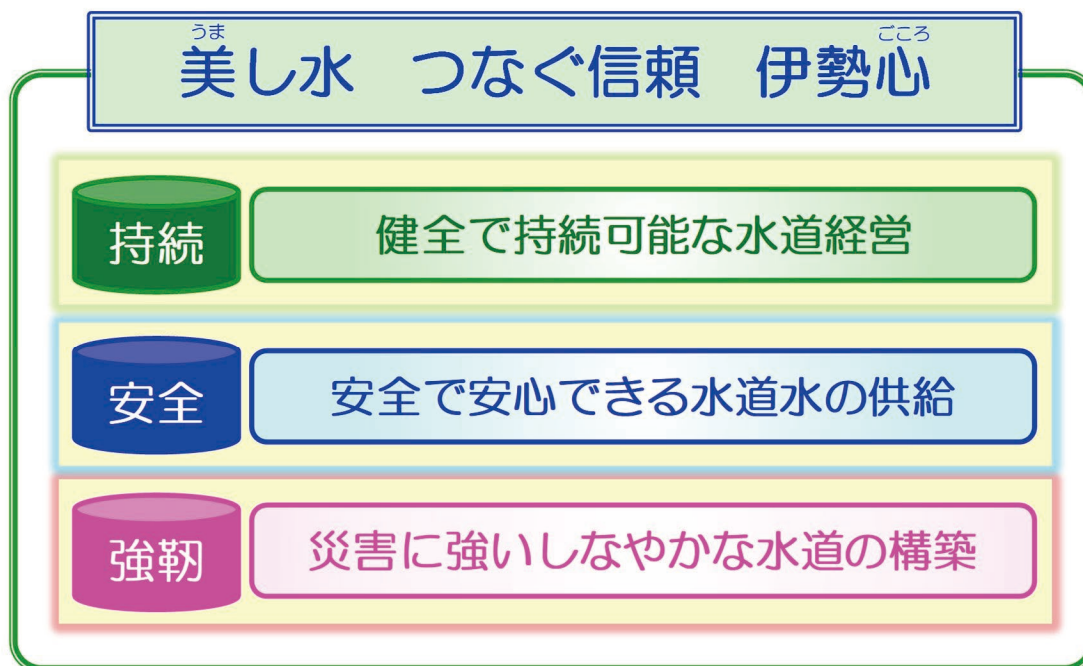
5.1 理想像と目標設定

厚生労働省の「新水道ビジョン」では、「水道の給水対象としてきた『地域』とその需要者との間において築き上げてきた『信頼』の概念を重要視し、関係者が共有する基本理念を『地域とともに、信頼を未来につなぐ日本の水道』とし、関係者それぞれが取組に挑戦すること」としています。

また、第3次伊勢市総合計画では、誰をも魅了する、憧れのまちであり続けるために3つのまちづくりの基本理念である「私たちが担うまち」、「人と人とのつながりで活力と安心を感じられるまち」、「地域の誇りをつなぐまち」を踏まえ、人と人、地域と地域、過去と未来をつなぎ、目指すまちの将来像を「つながりが誇りと安らぎを育む 魅力創造都市伊勢」と定めています。

これらを踏まえ、本市水道事業の目指すべき方向として、基本理念は平成20年度に策定した「伊勢市水道事業基本計画」の基本理念を踏襲するものとし、「^{うま}美し水 つなぐ信頼 ^{ごころ}伊勢心」とします。

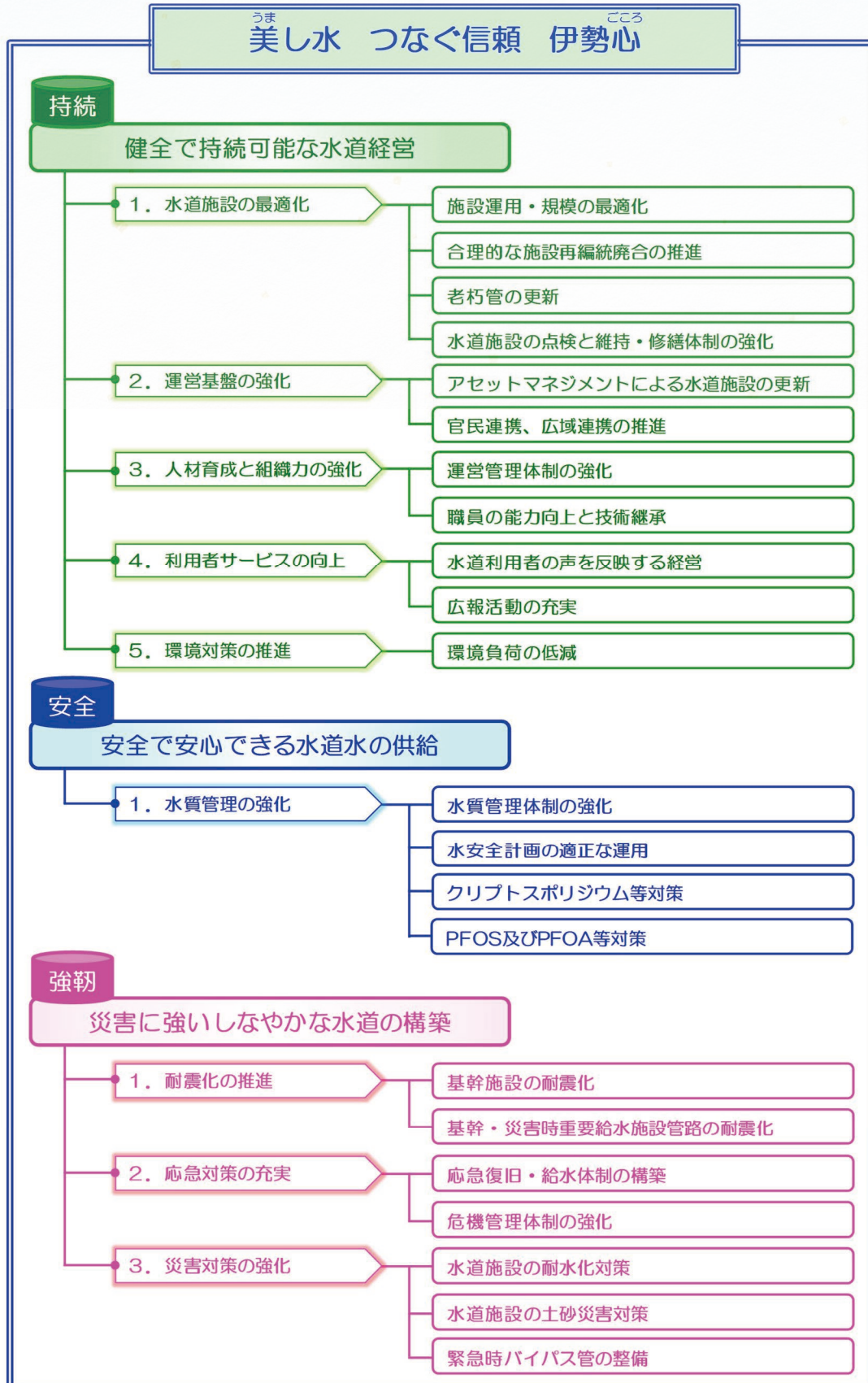
また、目標については、厚生労働省の「新水道ビジョン」が掲げる「持続」、「安全」及び「強靱」の観点から、「持続：健全で持続可能な水道経営」、「安全：安全で安心できる水道水の供給」、「強靱：災害に強いしなやかな水道の構築」の3つを掲げます。



図：伊勢市水道事業ビジョンの基本理念と目標

5.2 施策の体系




整理した課題に対応し、基本理念と目標の具現化を目指して、本ビジョンを推進していくための施策体系を以下に示します。



5.3 SDGs との関係

本ビジョンの施策体系は SDGs が掲げるゴール（目標）と深い関わりを持っています。各実現方策の推進により SDGs の達成を目指すものとします。

本市水道事業における実現方策と SDGs との関係及び関係するゴールの説明を以下に示します。

基本理念				
うま 伊勢心 つなぐ信頼 伊勢心				
目標	区分	実現方策	実現方策の具体的内容	SDGs との関係
持続	健全で持続可能な水道経営	水道施設の最適化	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設運用・規模の最適化 ◆合理的な施設再編統廃合の推進 ◆老朽管の更新 ◆水道施設の点検と維持・修繕体制の強化 	
		運営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆アセットマネジメントによる水道施設の更新 ◆官民連携、広域連携の推進 	
		人材育成と組織力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆運営管理体制の強化 ◆職員の能力向上と技術継承 	
		利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ◆水道利用者の声を反映する経営 ◆広報活動の充実 	
		環境対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆環境負荷の低減 	
安全	安全で安心できる水道水の供給	水質管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆水質管理体制の強化 ◆水安全計画の適正な運用 ◆クリプトスポリジウム等対策 ◆PFOS及びPFOA等対策 	
強靱	災害に強いしなやかな水道の構築	耐震化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆基幹施設の耐震化 ◆基幹・災害時重要給水施設管路の耐震化 	
		応急対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆応急復旧・給水体制の構築 ◆危機管理体制の強化 	
		災害対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆水道施設の耐水化対策 ◆水道施設の土砂災害対策 ◆緊急時バイパス管の整備 	

図：本ビジョンの実現方策と SDGs との関係

◆関係するゴールの説明



ゴール3：すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する。



ゴール6：安全な水とトイレを世界中に

すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する。



ゴール7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに

すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。



ゴール9：産業と技術革新の基盤をつくろう

レジリエント*なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーション*の拡大を図る。



ゴール11：住み続けられるまちづくりを

都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする。



ゴール13：気候変動に具体的な対策を

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る。



ゴール17：パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップ*を活性化する。